



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月14日

上場会社名 ゲンダイエージェンシー株式会社
コード番号 2411 URL <http://www.gendai-a.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 正卓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 高 秀一

TEL 03-5308-9888

四半期報告書提出予定日 2022年10月31日

配当支払開始予定日

2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,805	7.6	223	192.6	251	194.2	202	460.5
2022年3月期第2四半期	3,536		76		85		36	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 202百万円 (426.4%) 2022年3月期第2四半期 38百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	14.89	
2022年3月期第2四半期	2.42	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期の係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	5,845	4,526	77.4	337.36
2022年3月期	6,254	4,476	71.6	326.77

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 4,526百万円 2022年3月期 4,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		3.00		4.00	7.00
2023年3月期		7.00			
2023年3月期(予想)				8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	7.7	400	34.8	400	27.7	320	29.3	23.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	13,700,000 株	2022年3月期	15,050,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	281,200 株	2022年3月期	1,350,300 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	13,612,200 株	2022年3月期2Q	14,954,138 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1、当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産実績	9
(2) 受注状況	9
(3) 販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症による悪化影響が緩和されたものの、急激な円安の進行や世界的な原材料価格の高騰など、未だ厳しい状況は続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限が緩和され、来店者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍以前の水準には至らず、収益面で厳しい状況は続いております。さらには、今後導入が見込まれる新基準機等への投資が控えていることもあり、店舗リニューアルや新遊技機の購入といった投資意欲は減退しています。その一方で、パチンコホール以外の広告分野において、現在力を入れているフィットネス施設等においては、前年と比較し、広告需要は回復基調にあります。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、パチンコホール以外の顧客開拓、取引深耕を推進し、収益の底上げに向けた取り組みを進めてまいりました。また、引き続き販管費等の抑制に努めました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,805百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は223百万円（同192.6%増）、経常利益は251百万円（同194.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は202百万円（同460.5%増）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(広告事業)

当第2四半期連結累計期間におけるパチンコホール広告市場は、5月の大型連休や8月のお盆休みに向けた広告需要は高まったものの、その他においては、パチンコホールの収益性の低迷や投資意欲の減退による広告費の削減に加え、新台入替の頻度が減少したことによる告知需要の減少もあり、広告需要は低迷する状況にありました。特に取扱高は大きいものの利益率の低い紙媒体は、コロナ禍以前と比較して大幅に減少し、インターネット広告へのシフトがより鮮明となりました。パチンコホール広告以外の分の広告市場においては、フィットネス施設広告需要や、連結子会社(株)ユーアンドユーにおいて開拓を進めている住宅関連分野における広告需要は、堅調に推移しました。

こうした環境下において、当社グループでは、パチンコホール施設、フィットネス施設以外の市場開拓をより積極的に推進いたしました。

その結果、売上高は、主として紙媒体広告の需要減少により3,773百万円（前年同期比7.8%増）に留まったものの、利益率の高いインターネット広告が堅調に推移したことにより、セグメント利益は336百万円（同67.5%増）となりました。

(不動産事業)

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社(株)ランドサポートが所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益は計画通りでしたが、この期間、賃貸仲介物件の引き渡し等に伴う手数料の計上はありませんでした。

その結果、売上高は25百万円（前年同期比17.7%減）、セグメント利益は10百万円（同34.2%減）となりました。

(その他)

当第2四半期連結累計期間においては、キャンピングカーレンタル事業等による、売上高は6百万円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益は1百万円（同502.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,845百万円となり、前連結会計年度末比408百万円の減少となりました。これは、主に借入金の返済等により現金及び預金が391百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は1,319百万円となり、前連結会計年度末比458百万円の減少となりました。これは、主に借入金が393百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は4,526百万円となり、前連結会計年度末比50百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益202百万円を計上する一方で、株主還元として利益配当54百万円及び自己株式取得97百万円を実施したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として税金等調整前四半期純利益251百万円を計上したこと等により164百万円の収入（前年同期は146百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として固定資産取得による支出31百万円があったこと等により32百万円の支出（前年同期は12百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として借入金の返済による支出が393百万円、自己株式の取得による支出が97百万円、前連結会計年度決算に係る期末配当金の支払54百万円があったことにより545百万円の支出（前年同期は295百万円の支出）となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物は当第2四半期連結累計期間において391百万円減少し、3,586百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結会計期間の業績は、概ね当初計画どおりに進捗しております。よって、現時点における通期連結業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,984	3,592
受取手形、売掛金及び契約資産	1,048	983
未収還付法人税等	5	40
その他	70	66
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	5,107	4,683
固定資産		
有形固定資産		
土地	521	521
その他(純額)	62	72
有形固定資産合計	583	594
無形固定資産		
のれん	48	42
その他	62	77
無形固定資産合計	111	120
投資その他の資産	451	448
固定資産合計	1,146	1,162
資産合計	6,254	5,845
負債の部		
流動負債		
買掛金	568	522
短期借入金	200	—
1年内返済予定の長期借入金	287	187
未払法人税等	54	48
その他	179	166
流動負債合計	1,289	924
固定負債		
長期借入金	450	356
資産除去債務	8	8
その他	29	29
固定負債合計	488	394
負債合計	1,777	1,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,713	1,261
利益剰余金	3,111	3,259
自己株式	△449	△94
株主資本合計	4,475	4,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
その他の包括利益累計額合計	1	1
純資産合計	4,476	4,526
負債純資産合計	6,254	5,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,536	3,805
売上原価	2,533	2,653
売上総利益	1,003	1,151
販売費及び一般管理費	927	928
営業利益	76	223
営業外収益		
受取利息	0	0
有価証券利息	1	0
受取配当金	6	2
為替差益	1	22
その他	3	5
営業外収益合計	12	31
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	1	1
営業外費用合計	3	3
経常利益	85	251
特別損失		
投資有価証券評価損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	80	251
法人税、住民税及び事業税	46	47
法人税等調整額	△1	1
法人税等合計	44	48
四半期純利益	36	202
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	36	202

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	36	202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△0
その他の包括利益合計	2	△0
四半期包括利益	38	202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38	202
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	80	251
減価償却費	22	19
のれん償却額	6	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△1
受取利息及び受取配当金	△7	△2
支払利息	1	1
為替差損益 (△は益)	△1	△22
投資有価証券評価損益 (△は益)	4	—
売上債権の増減額 (△は増加)	97	64
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4	1
仕入債務の増減額 (△は減少)	△53	△45
その他	2	△11
小計	157	259
利息及び配当金の受取額	9	2
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△33	△96
法人税等の還付額	14	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	146	164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9	△7
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△12	△24
投資有価証券の取得による支出	△6	△0
敷金及び保証金の差入による支出	—	△0
敷金及び保証金の回収による収入	5	—
その他	9	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△200
長期借入金の返済による支出	△187	△193
自己株式の取得による支出	△108	△97
配当金の支払額	—	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△295	△545
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△160	△391
現金及び現金同等物の期首残高	3,802	3,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,642	3,586

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2022年6月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式280,900株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が97百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2022年9月16日開催の取締役会決議に基づき、2022年9月30日付で、自己株式1,350,000株の消却を実施しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ452百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,499	30	3,530	6	3,536	—	3,536
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,499	30	3,530	6	3,536	—	3,536
セグメント利益	200	15	216	0	216	△140	76

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、ストレージ事業及びキャンピングカーレンタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△140百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△140百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	広告事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	3,773	25	3,798	6	3,805	—	3,805
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,773	25	3,798	6	3,805	—	3,805
セグメント利益	336	10	346	1	347	△124	223

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、ストレージ事業及びキャンピングカーレンタル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△124百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△124百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
折込広告	1,432	107.3
インターネット	1,244	120.2
販促物	479	92.6
クリエイティブ	237	106.1
媒体	110	89.5
その他	269	101.8
広告事業計	3,773	107.8
不動産事業	25	82.3
その他	6	106.3
合計	3,805	107.6